いぶき

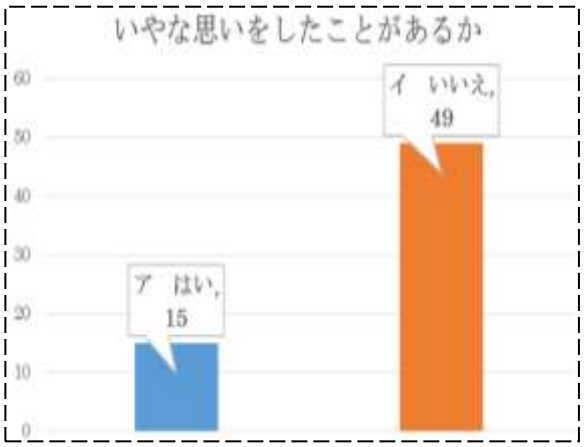
別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（1 年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

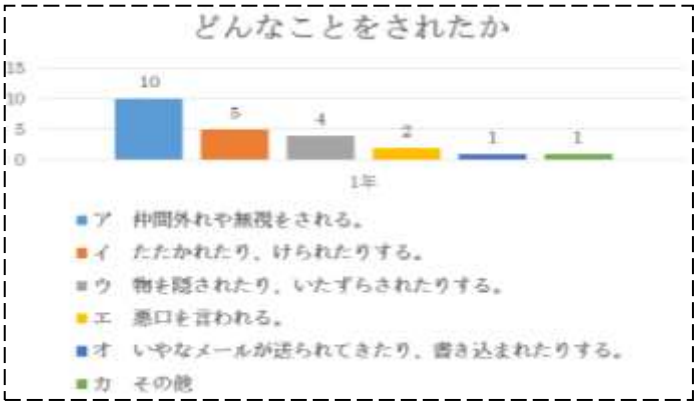
まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（６４名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

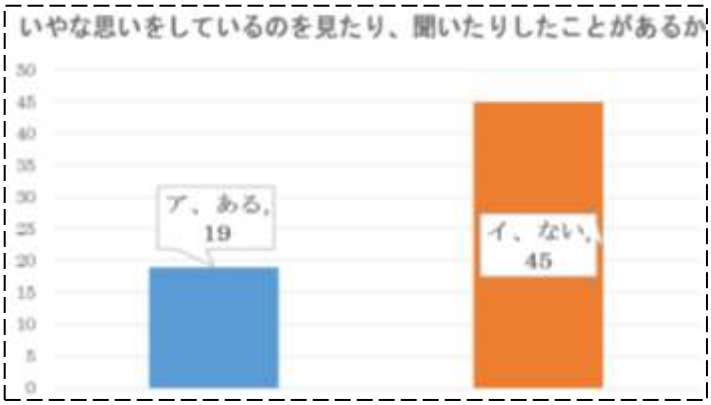


※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他

○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）



○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

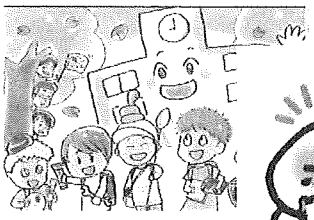
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

１年生の保護者の皆様へ

hyper―QU 検査の結果から

仲良く、安全安心な教室づくりに必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



『ソーシャルスキル』とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配　慮】おもいやり力（**対人関係の基本的なマナーやルールが守られているか**）

【かかわり】表　現（**人とかかわるきっかけや関係の維持ができているか**）

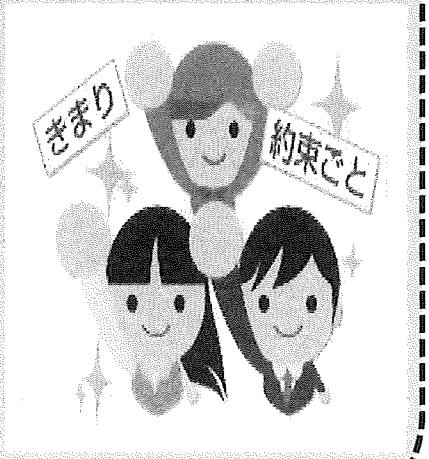
１．あいさつができる　２．ごめんなさいが言える　３．話が聞ける　４．ありがとうが言える
５．決まりを守れる　６．仕事を最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える
８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える
１２．意見が言える

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、検査機関が子ども達の答えを集計し、全国平均と比較し結果を出してくれました。

中央小学校１年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

友達との関係づくりに必要な基本的なスキルは身についているものの、

「役割に取り組む」や「きまりを守る」など、集団生活におけるスキルの定着はクリアーできていない。



自由な雰囲気の中で、徐々に発言の得意な子どもや仲良しグループが固定し始めてしまうことが考えられます。

このような状態が続くと、子ども達の間に存在感や認められ感の差が広がり、規律が崩れたり、学級に対する帰属意識が低下する、そして、「がんばる友達を困らせてしまう」などが起こってくることも。

大きなトラブルがない、子ども達が仲の良い今のうちに、

① **自分の役割や責任に取り組み、最後までやり遂げる**

② **決まりを守る**　　など、ソーシャルスキルの学習に取り組むとよいでしょう。

お子さん個人の学校生活の様子についてメッセージが届いています。

１．友だちとなかよくきょうりょくしあっているか。　**２．学習**にしっかりとりくんでいるか。

３．学級で楽しくかつどうできているか。　☆　☆☆　☆☆☆　で定着度が表されています。

☆が　☆　☆☆　のお子さんは夏休み中、多くの人とふれ合い　☆☆☆　になるように期待しています。

いぶき

別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

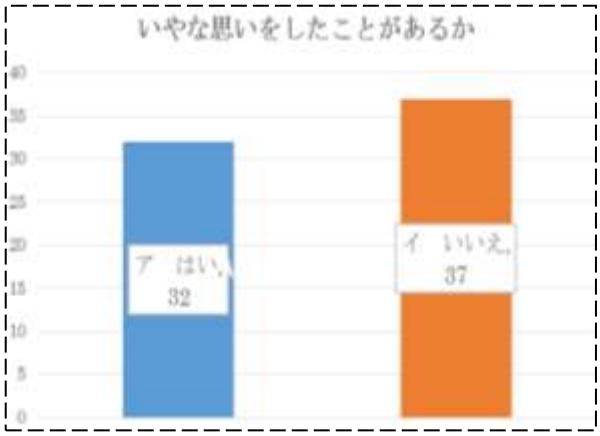
いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（２年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（６９名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

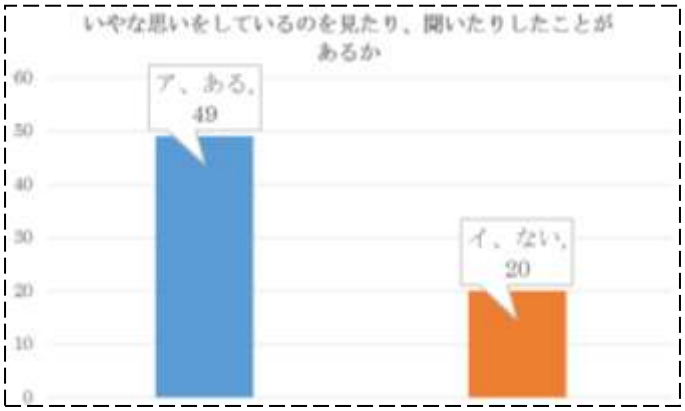
○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他



○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）

○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

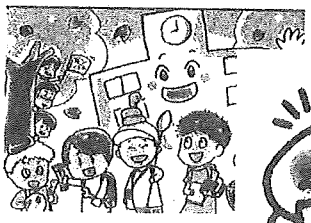
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

２年生の保護者の皆様へ

hyper-QU検査の結果から

仲良く、安全安心な教室づくりに必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



「ソーシャルスキル」とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配　慮】（対人関係の基本的なマナーやルールが守られているか）

【かかわり】（人とかかわるきっかけや関係の維持ができているか）

１．あいさつができる　２．ごめんなさいが言える　３．話が聞ける　４．ありがとうが言える
５．決まりを守れる　６．仕事を最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える
８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える
１２．意見が言える

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、子ども達の答えを集計し、全国平均と比較して出されています。

中央小学校２年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

基本的なソーシャルスキルを一定数の子ども達が満たしています。

学年全体のソーシャルスキルについて、基本的な友達づくりに必要な態度や受け答え、集団生活（活動）への参加に必要な話し合いの姿勢、さらに積極的な友達づき合い・集団への参加に必要な自主的な助け合いスキルなどが、ある程度身についています。

特に定着の高かったスキルは

① 誰かが困っているとき、自分から手伝いをする。
② 相手に聞こえるように話す。
③ 自分から友達を遊びに誘う。　でした。

時々、「ルールやマナーのない言葉や行動」をする子どもが少人数いるかもしれませんが、そのような時は「個別」で「継続的」に改善点をしっかり伝える、そして、がんばって改善できたときには「言葉」にして、「褒める」「認める」ようにしてあげてください。

お子さん個人の学校生活の様子についてメッセージが届いています。

１．**友だち**となかよくきょうりょくしあっているか。　２．**学習**にしっかりとりくんでいるか。

３．**学級**で楽しくかつどうできているか。　☆　☆☆　☆☆☆　で定着度が表されています。

☆が　☆　☆☆　のお子さんは夏休み中、多くの人とふれ合い　☆☆☆　になるように期待しています。

いぶき

別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

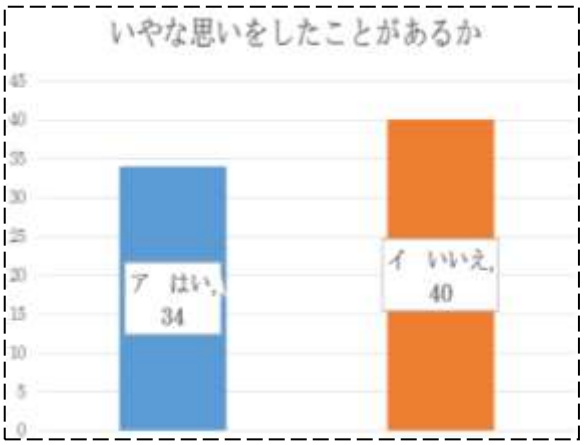
いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（３年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

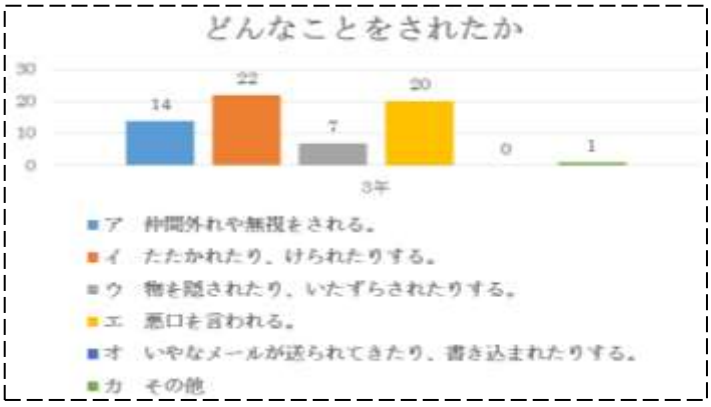
まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（７４名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

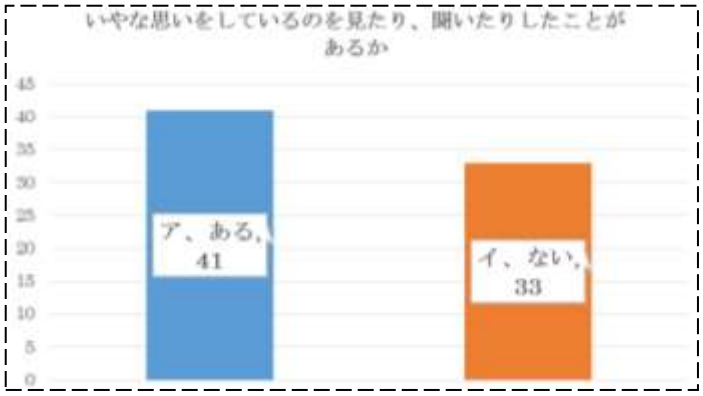
※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他



○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）



○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

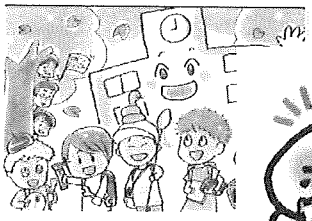
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

３年生の保護者の皆様へ

hyper―QU 検査の結果から

仲良く、安全安心な教室づくりに必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



『ソーシャルスキル』とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配　慮】おもいやり力（**対人関係の基本的なマナーやルールが守られているか**）

【かかわり】表　現（**人とかかわるきっかけや関係の維持ができているか**）

１．あいさつができる　２．ごめんなさいが言える　３．話が聞ける　４．ありがとうが言える
５．決まりを守れる　６．仕事を最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える
８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える
１２．意見が言える

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、検査機関が子ども達の答えを集計し、全国平均と比較し結果を出してくれました。

中央小学校３年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

挨拶や聞く態度・応答の姿勢などの基本的なソーシャルスキルの定着がクリアーできていない。

自由な雰囲気の中で、他者との関係づくりに必要な基本的なソーシャルスキルの重要性がやや弱いことが考えられます。このような意識が続いていくと、その影響は徐々に子ども達の行動にも現れてしまい、子ども同士の関係がギクシャクしたりトラブルや規律が崩れてくる心配があります。

特に定着率が低かった項目は

①友達にありがとうが言える　②困っている人を手伝える
③話し合いに参加できる

学級内にトラブルのない今のうちに定着の弱い項目を

一定期間、全員でやり遂げる　など、全体で取り組み定着するように励ましていきましょう。

お子さん個人の学校生活の様子についてメッセージが届いています。

１．友だちとなかよくきょうりょくしあっているか。　**２．学習**にしっかりとりくんでいるか。

３．学級で楽しくかつどうできているか。　☆　☆☆　☆☆☆　で定着度が表されています。

☆が　☆　☆☆　のお子さんは夏休み中、多くの人とふれ合い　☆☆☆　になるように期待しています。

いぶき

別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

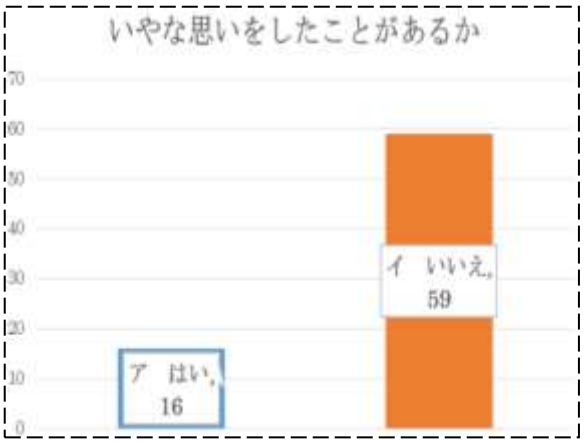
いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（４年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（７５名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

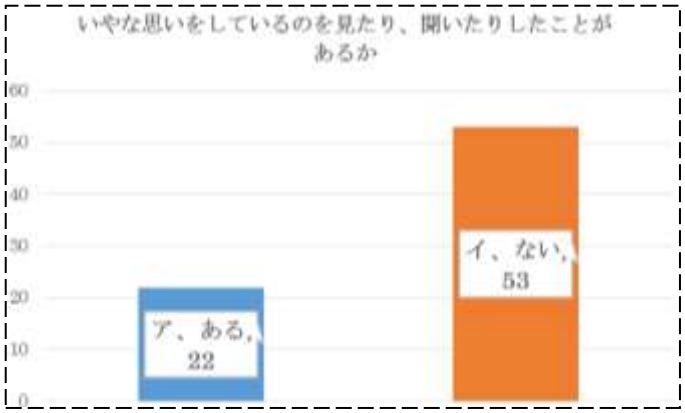
○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他



○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）

○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

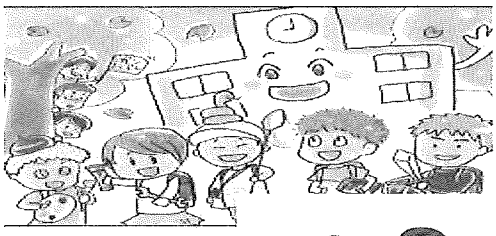
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

４年生の保護者の皆様

hyper―QU 検査結果から

学力と豊かな心を育むために必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



『ソーシャルスキル』とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配慮】思いやり力（**対人関係の基本的なルールやマナーが育っているか**）

友達の気持ちを考える、約束を守るなど、相手を尊重した姿勢を行動で示せる。

【かかわり】表現力（**人とかかわるきっかけや良い関係の維持ができているか**）

配慮のスキルを前提に自分から友達に声をかける、みんなのためになることを見つけて実行する。

１．挨拶ができる　２．謝ることができる　３．集中して話が聞ける　４．感謝できる　５．決まりを守れる　６．仕事は最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える　８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える　１２．リーダーシップがとれる

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、検査機関が子ども達の答えを集計し、全国平均と比較して出してくれました。

中央小学校４年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

全国の平均と比較すると

「配慮」が高く、「かかわり」は全国平均とほぼ同じです。

バランス面からみると、やや偏りが見られます。「ルール」や「行動規範」が共有されており、教室内で大きなトラブルは起きにくいのですが、児童個々の「認められ感」の差が大きくなってきています。

今後、「認められ感の弱い友達（配慮が高く、かかわりが低い）」に学級全体が友達として積極的にかかわること、さりげないフォローにより、学級はさらに「思いやりのある親和的な学級」になります。

また、「認められ感」の弱い友達が「かかわり」をがんばったときには意識してほめてあげられたら「まとまりのあるすばらしい学級」を維持していくことができます。

お子さん個人の学校生活の様子についてもメッセージが届いています。

定着度は★で表されています。　★　～　評定１　★★　～　評定２　★★★　～　評定３

「配慮」★★★　×「かかわり」★★★　＝　対人関係や集団活動へのかかわりが良好で、友達からも慕われていると思われる。

「配慮」★　×　「かかわり」★　＝　対人関係における基本的なマナーやかかわり方が身についていないと思われ、友達関係を上手に築けず周りから浮いてしまう心配が。

いぶき

別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

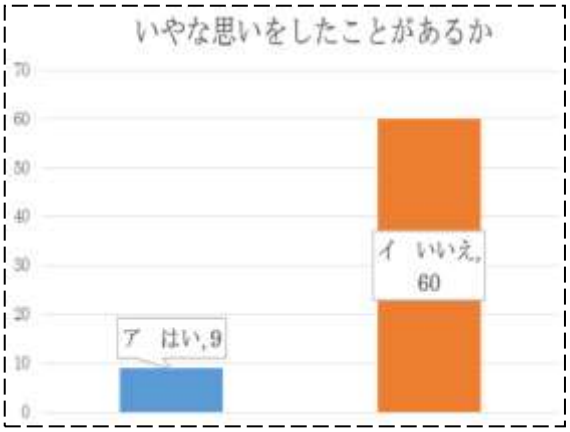
いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（５年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

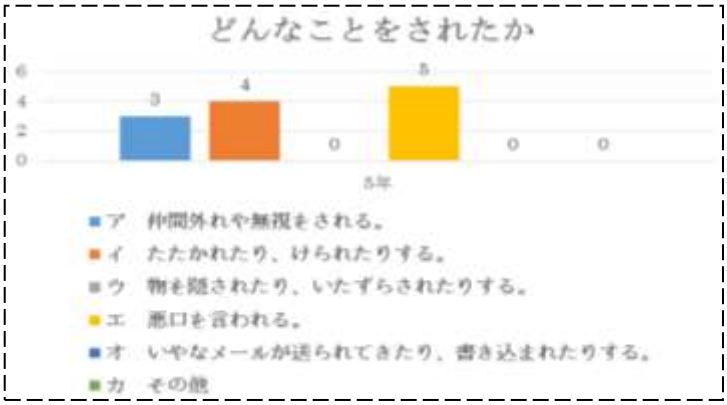
まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（６９名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

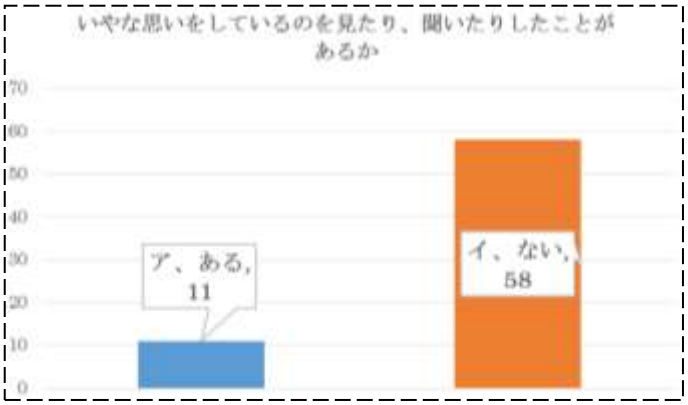
※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他



○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）



○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

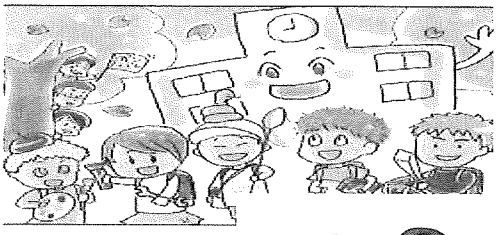
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

５年生の保護者の皆様

hyper―QU 検査結果から

学力と豊かな心を育むために必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



『ソーシャルスキル』とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配慮】思いやり力（**対人関係の基本的なルールやマナーが育っているか**）

友達の気持ちを考える、約束を守るなど、相手を尊重した姿勢を行動で示せる。

【かかわり】表現力（**人とかかわるきっかけや良い関係の維持ができているか**）

配慮のスキルを前提に自分から友達に声をかける、みんなのためになることを見つけて実行する。

１．挨拶ができる　２．謝ることができる　３．集中して話が聞ける　４．感謝できる　５．決まりを守れる　６．仕事は最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える　８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える　１２．リーダーシップがとれる

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、検査機関が子ども達の答えを集計し、全国平均と比較して出してくれました。

中央小学校５年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

全国の平均と比較すると

「配慮」「かかわり」共に全国平均を上回り、ソーシャルスキルが定着しているが、仲の良い友達の間だけで発揮されている。

子ども達のソーシャルスキルの定着は高いのですが、仲の良い友達の間だけになりがちで、それ以外の友達との間には温度差があることが予想されます。そのために、学級生活や活動に取り組む意欲が低下している子ども達が学級全体の活動にブレーキをかけてしまう心配があります。

今後は子ども達のソーシャルスキルの発揮の範囲を、「仲の良い友達」から「学級全体」の生活や活動面に広げていくと**「配慮とかかわりのバランスの良い学級、学年」**が築かれると思います。

お子さん個人の学校生活の様子についてもメッセージが届いています。

定着度は★で表されています。　★　～　評定１　★★　～　評定２　★★★　～　評定３

「配慮」★★★　×「かかわり」★★★　＝　対人関係や集団活動へのかかわりが良好で、友達からも慕われていると思われる。

「配慮」★　×　「かかわり」★　＝　対人関係における基本的なマナーやかかわり方が身についていないと思われ、友達関係を上手に築けず周りから浮いてしまう心配が。

いぶき

別海中央小学校　生活部便り
第　９　号
平成３０年　７月　２４日
発行　校長　稲村　和典
（作成　生活部　豊川　隼人）

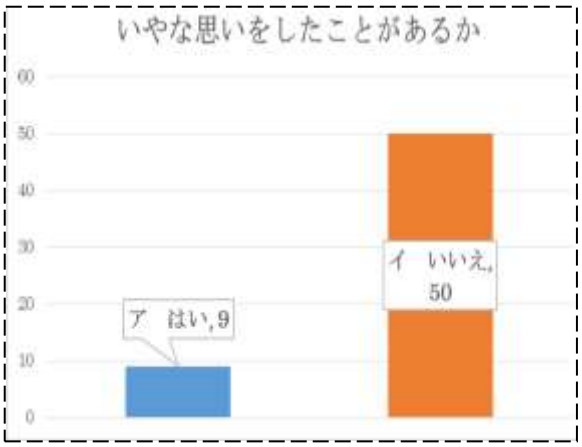
いじめアンケートとＱ－Ｕ検査の結果（６年生）について

本校では北海道教育委員会が毎年行っている「いじめの把握のためのアンケート調査」について，年２回（６月と１１月）実施しています。また，Ｑ－Ｕ検査についても毎年２回行い，お子さん１人１人の学校での様子の把握に努めています。

まずは今年６月に実施した「いじめアンケート」の結果（５９名回答）についてお知らせします。質問内容と結果は以下の通りです。（Ｑ－Ｕ結果は裏面参照）

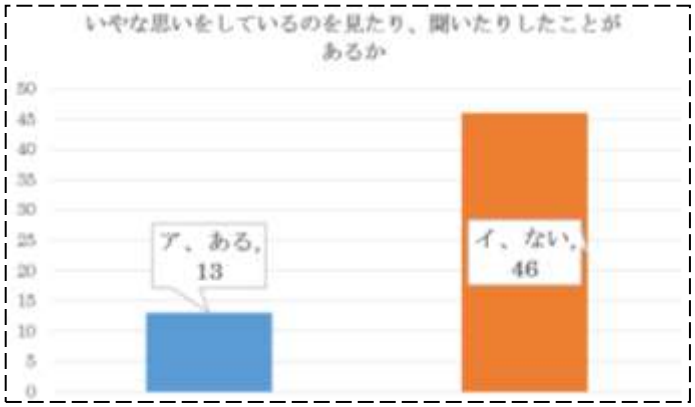
○あなたは今年４月から今日（６月２０日）まで下のア～カのようなことをされて，いやな思いをしたことがありますか。

※ア～カの内容
- ア　仲間外れや無視をされる。
- イ　たたかれたり，けられたりする。
- ウ　物を隠されたり，いたずらされたりする。
- エ　悪口を言われる。
- オ　いやなメールが送られてきたり，書き込まれたりする。
- カ　その他



○どんなことをされましたか。すべてに○をつけて下さい。※「はい」と答えた児童のみ回答（上記ア～カから選ぶ　複数回答可）

○あなたは、友達がいやな思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。



このような結果を踏まえ，「はい」または「ある」と答えた子について，担任を中心に面談，具体的な指導を丁寧に行い，いじめの未然防止と早期解決を図ることに努めているところです。今後も引き続き，該当児童への声かけ，校内の様子の観察，また「いいことやろう隊」をはじめとした，いじめを許さない雰囲気づくりにも取り組んでいきます。そして、2学期は「いじめの定義」について学習する授業を計画していく予定です。詳しくは2学期に入ってからお知らせしたいと思います。

＜保護者の皆様へお願い＞

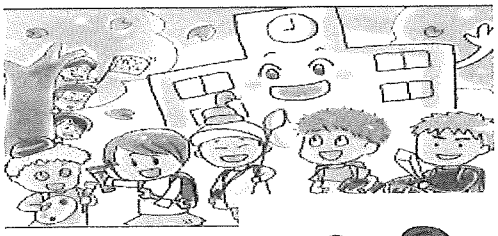
来週から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムが崩れないようにしていただくことはもちろんのことですが，友達や目上の人に対する言葉遣いについても気にかけていただければありがたいです。そのためにも多くの人と触れ合って，人付き合いを磨いて下さい。

６年生の保護者の皆様

hyper―QU 検査結果から

学力と豊かな心を育むために必要なソーシャルスキルが

子ども達にどの程度身についているかの確認を！



『ソーシャルスキル』とは、

学校生活における適応や良好な友人関係づくりの力と技

【配慮】思いやり力（**対人関係の基本的なルールやマナーが育っているか**）

友達の気持ちを考える、約束を守るなど、相手を尊重した姿勢を行動で示せる。

【かかわり】表現力（**人とかかわるきっかけや良い関係の維持ができているか**）

配慮のスキルを前提に自分から友達に声をかける、みんなのためになることを見つけて実行する。

１．挨拶ができる　２．謝ることができる　３．集中して話が聞ける　４．感謝できる　５．決まりを守れる　６．仕事は最後までやりとげられる　７．困っている人を手伝える　８．聞こえるように話せる　９．話し合える　１０．気持ちを表現できる　１１．遊びに誘える　１２．リーダーシップがとれる

子ども達全員に身につけさせたい「基本的なマナーやルール」について、検査機関が子ども達の答えを集計し、全国平均と比較して出してくれました。

中央小学校６年生の子ども達のソーシャルスキルの定着度は

全国の平均と比較すると

「配慮」「かかわり」共に全国平均を上回り、ソーシャルスキルのバランスも良好、「親和的な学級・学年集団」ができています。

子ども達のソーシャルスキルの定着は高く、バランスも良好です。

子ども達の主体的な行動に対して、適宜、全体に対して、良い点を具体的に示し、認めてあげることで、子ども達のソーシャルスキルの高さは維持されていきます。

「配慮」のスキルが「かかわり」のスキルよりも高い（思いやりスキルは身についているが友達と積極的にかかわれない）子どもも、楽しく生活できているのは学級内の他の友達のさりげないフォローがあるからだと考えられます。

お子さん個人の学校生活の様子についてもメッセージが届いています。

定着度は★で表されています。　★ ～ 評定１　★★ ～ 評定２　★★★ ～ 評定３

「配慮」★★★ ×「かかわり」★★★ ＝ 対人関係や集団活動へのかかわりが良好で、友達からも慕われていると思われる。

「配慮」★ × 「かかわり」★ ＝ 対人関係における基本的なマナーやかかわり方が身についていないと思われ、友達関係を上手に築けず周りから浮いてしまう心配が。